

Since1962. 広報湯前

あなたとまちをつなぐ情報誌

YUNOMAE

笑顔、ピカイチ！

12

The Monthly
Public Relations
Dec_2025
Vol.534

練習を積み重ね入賞

米良さんが全国大会で入賞



自分から練習に励み、全国で3位に輝いた米良さん

8月2・3日に盛岡タカヤアリーナ(岩手県)で開催された「文部科学大臣杯第67回小学生・中学生全国空手道選手権大会」で、空手クラブ陽心館の米良王嵐さん(野中田3)が3位に入賞しました。

米良さんは、個人戦小学4年生男子組手の部に出場。大会までの期間、教わったことを試合で出せるように、練習に励みました。得意技の「^{※きざ}刻み突き」を何度も練習し、技を磨きました。

自信をつけて挑んだ全国の舞台では、得意技でポイントを取り、さらに相手の腹部を突く中段突きを決めて一本勝ちをするなど、練習の成果を発揮しました。惜しくも準決勝で敗退となりましたが、全国3位の成績を収めました。

米良さんは「大会までたくさん練習をしたので、あまり緊張せずに試合ができた。優勝を目指していたから3位という結果は悔しい。来年も予選を勝ち上がってこの大会に出場し、次こそは優勝を目指す」と、全国優勝に向けての意気込みを話しました。

※踏み込んで相手の肩から上の部分を突く技

湯前B.B.C が初優勝

ブルートレイン多良木学童野球大会



みんなで盛り上げて勝利を引き寄せた選手たち

「ち勝つ野球」を体現できた今大会。主将を務める豊後陽己さん(湯前小6年=下里)は「すべての試合でチーム一丸となって初回から攻めていくことができ、良い雰囲気です試合を進められた」と勝因を分析。「このメンバーで野球ができるのもあと少し。1試合でも多く試合ができるよう、残りの大会も勝ち上がりたい」と次戦を見据えました。

INDEX

3 SPORTS

空手：米良王嵐さん / 野球：湯前B.B.C

4 新たな交流拠点、完成

湯前駅レールウイング複合施設落成式

6 Photo Report

慈光こども園運動会 / 第67回湯前町民体育祭 / 第38回湯前町文化祭

10 令和6年度決算

12 Topics +

地元選出国会議員との意見交換会 / ドウ・ヨネザワ企業グループとの包括連携協定調印式 / 第34回那須良輔風刺漫画大賞

14 Topics

0円古民家プロジェクト無償譲渡調印式 / JTの森ゆのまえ森づくりの日 / 人権擁護委員改選 / 中体連駅伝競走大会 / 湯前小学校5年生稲刈り体験 / いきいき運動クラブ大交流会 / 瀬戸口遊園地看板設置 / コウノトリ飛来 / 出生祝金贈呈

17 湯前歴史散歩

昭和3年の相良三十三観音めぐり①

18 MANGA NEWS

熊本市で生涯学習講座開催 / これが漫画！展リポート

20暮らしと健幸

管理栄養士だより / 環境情報 / 保健師だより / 図書だより

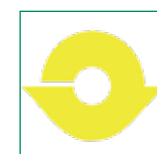
22 Community

婦人会だより / B&Gだより / 地域学校協働本部のはたらき

24 令和7年度湯前中学校文化祭

ゆのまえ

心豊かで、活力があり、未来を創造する町



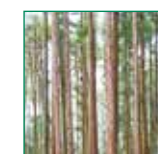
町章



町の鳥「メジロ」



町の花「ツツジ」



町の木「ヒノキ」



町ホームページ



町公式LINE



町公式instagram

人のうごき

10月

人口 = 3369 人

(男 = 1594 女 = 1775)

世帯 = 1503 世帯

※10月31日時点

誕生おめでとう

恒松 美桜(馬場)
翔也・明美

結婚おめでとう

多田 圭太郎(千葉県我孫子市)
澁谷 穂波(下里)

ご冥福をお祈りします

森山 ミスエ(下村)
稲葉 フミ子(田上)
松岡 進(中猪)
森 陸男(浅鹿野)
山内 常盛(中里2)
味岡 一枝(下村)
小林 ヨシエ(福寿荘)

香典返し

吉田 麗衣(上里3)
樫木 瑠美子(野中田1)
森山 宏(下村)
的場 早苗(中猪)
柴田 テツコ(古城)
山内 美知枝(中里2)
金丸 佐代子(宮崎県)
味岡 敬(下村区)

1_テープカットで落成を祝う関係者 2_あさぎり町和太鼓保存会の迫力ある和太鼓演奏 3・6_マルシェでは、地元生産者の出店も 4_デルフィオーレの美しい歌声が会場に響く 5_慈光こども園児は一生懸命ダンスを披露 7_元気いっぱいにエイサーを披露する慈琉会 8_華やかな衣装でダンスするSAKURA組 9_湯前中学校吹奏楽部の演奏で幕開け 10_最後のもち投げでは、参加者同士で大盛り上がり



新たな交流拠点、完成

湯前駅レールウイング複合施設落成式

湯前駅レールウイング複合施設の落成式を11月1日に開き、松村祥史参議院議員や馬場成志参議院議員など関係者32人が参加。テープカットや施工・設計監理者への感謝状贈呈を行いました。

平成2年に建設した湯前駅レールウイング。これまで主にイベント会場として多くの人に利用されてきました。完成から30年以上経過し、木製の床材などが老朽化。もう一度、気軽にイベントや交流の場として使えるように、昨年10月から改修工事に取り掛かり、ことし10月に竣工しました。床面積は約2190平方メートル。床材の張り替えとともに、新たに大きな屋根や更衣室・トイレを新設し、バリアフリーの全天候型イベントスペースとしました。設計監理は株式会社SDA建築設計事務所、施工は味岡・高木特定建設工事共同企業体が担当。総工費は約3億9500万円となりました。



夜には照明がつき、駅前が明るくなった

始発・終着駅として、町民はもちろん、観光客も迎え送り出す新しい駅施設へと生まれ変わりました。長谷和人町長は「まちの玄関口となるレールウイング複合施設を、未来にわたり光り輝く施設として有効に活用したい」とあいさつしました。

式典後には、湯前駅レールウイング複合施設リニューアルオープン記念式典・出発マルシェを開き、ステージでは和太鼓演奏やエイサー、ダンスなどを披露。会場を盛り上げるとともに、施設の完成を祝いました。



届け、笑顔と元気！

10月18日、湯前小学校体育館で慈光こども園運動会が開かれました。かけっこやダンス、体操などこれまで練習してきた成果を披露した園児たち。体を目一杯動かす元気な姿に、会場は大きな拍手で包まれました。

閉会式では吉武絵里園長は「みんなから楽しかったという感想を聞けてよかった。応援に来てくれたみなさんに、みんなの笑顔と元気を届けられたと思う。すばらしい運動会だった」と話しました。





歌や踊りを披露
第38回湯前町文化祭が、11月2・3日に農村環境改善センターで開かれ、舞台発表や展示作品を観に多くの人が来場しました。

文化祭は湯前町文化協会が主催し、教育委員会や熊本県文化協会、老人会、婦人会、青年団、人吉新聞社が後援。開会式では中武典子会長が「どのような時代でも文化芸術は大切なもの。文化祭に関わる多くの皆さんに楽しんでもらいたい」とあいさつしました。

舞台は湯前保育園の太鼓演奏で幕を開け、湯前小学校5・6年生が合唱、東方白太鼓踊り保存会が太鼓踊り、婦人会が手遊び、慈琉会がエイサーを披露。会員はカラオケや詩吟、太極拳、レクダンスなど、日ごろの練習の成果を発揮しました。ほかにも展示の部として写真や絵画、書道、工芸品などの力作がずらりと並べられました。

瀬戸口区初V

第67回湯前町民体育祭



磨いた技を披露

第38回湯前町文化祭



力を合わせて：

10月19日、町民グラウンドで第67回湯前町民体育祭を開き、19地区が出場。笑顔あふれる体育祭となりました。今回は、大縄跳びで29回成功するなどして99点を獲得した瀬戸口区が、初優勝を飾りました。

■競技結果

- ①瀬戸口 99点
- ②上村 93点
- ③野中田3 91点
- ④下染田 86点
- ⑤下里 81点
- 〃田上 81点

■躍進賞 田上

前回16位↓今回5位

■湯前町体育功労者表彰

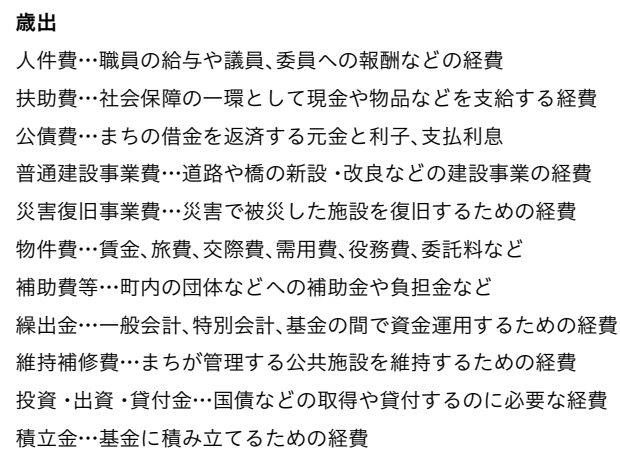
- 荒木龍二(陸上)
- 岩本隼(柔道)
- 多良木姫愛来(空手)
- 石井愛子(空手)
- 須賀威仁(陸上)
- 岩野新(カヌー)

令和6年度 決算公表

まちの財政状況



The top image shows a modern wooden building with a dark roof and large windows, situated in a park-like setting. A wooden sign with colorful illustrations is in the foreground. The bottom image shows a stone arch bridge over a river, surrounded by lush greenery and trees.



会計名	歳 入	歳 出	差引額
国民健康保険	5 億1830 万円	4 億7178 万円	4652 万円
介護保険	6 億9530 万円	6 億6199 万円	3331 万円
後期高齢者医療保険	7738 万円	7722 万円	16 万円

会計名	歳 入	歳 出	差引額
水道事業	収益の収入	収益の支出	
	8838 万円	6420 万円	2418 万円
	資本の収入	資本の支出	
	9058 万円	9143 万円	▲85 万円
下水道事業	収益の収入	収益の支出	
	9315 万円	1 億5162 万円	▲5847 万円
	資本の収入	資本の支出	
	2604 万円	7757 万円	▲5153 万円

Yunomae Dec_2025 10

「山へお帰り！」が受賞

第34 回那須良輔風刺漫画大賞



【一般部門】

那須良輔大賞

「山へお帰り！」

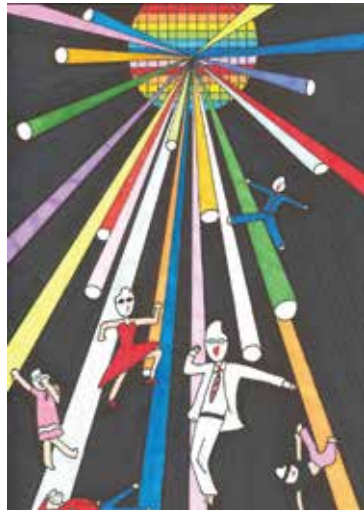
〈審査員コメント〉※原文ママ

このところのクマ出没は、日本にとって大問題になっています。クマに命令できる金太郎にお出まじいただき、山におかえりいただく方法しかないのでは…。という発想で描かれた作品です。

【ジュニア部門】中学生の部

那須良輔大賞

「米騒動」



〈審査員コメント〉

※原文ママ
米騒動の新しい表現と言える作品。人は慌て、米は踊るというのが、なんとも皮肉っぽいね。デザインも秀逸！

まちは「第34 回那須良輔風刺漫画大賞」の受賞作品を、10月31日に湯前町役場洋会議室で発表。一般部門では川崎克己さん(81 = 大阪府)の「山へお帰り！」が、ジュニア部門中学生の部では東美咲さん(あさぎ3年)の「米騒動」が那須良輔大賞に選出。小学生以下の部では星原灯利さん(湯前小2年 = 下村)の「ねっちゅうしょうちゅうい」が湯前町長賞に輝きました。

今回の応募総数は、昨年よりも多い659点。「猛暑」

【ジュニア部門】小学生以下の部

湯前町長賞

「ねっちゅうしょうちゅうい」



〈審査員コメント〉

※原文ママ
クワガタにクーリングチョッキを着せるなんて、昆虫愛の強さが感じられて面白い！昆虫も猛暑の中を生きるのは、大変だね。

「物価高騰」「スマホ依存」に加えて「大阪・関西万博」「パンダの返還」「米不足」をテーマにした作品も多く見られ、ジュニア部門では地球温暖化や水質汚染などの「自然環境問題」を描いた作品も見られました。

なお、ことしの審査会は10月16日に鎌倉婦人子供会館(神奈川県鎌倉市)で開き、漫画家の種村国夫さん・二階堂正宏さん・前川しんすけさんが審査員を務めました。

地域の農業発展のために

地元選出国會議員との意見交換会

10月25日、ゆのまえ温泉湯楽里会議室で地元選出国會議員との意見交換会が開かれ、人吉球磨地域の農業委員会の会長・女性委員・事務局ら34人が参加しました。本会は球磨都市農業委員会協議会(前川敏幸会長)が主催したもの。金子恭之国土交通大臣や松村祥史参議院議員、熊本県農業委員会の楳本亮二専務理事兼事務局長が招かれました。

農業委員会活動の強化と推進を目的として開催された本会。あいさつの中で両議員から国の農業政策に関する現状が報告されました。その後、出席者から「水害被害後の農地の復旧対応」「後継者育成」「スマート農業」「資材高騰」などについての質問や意見があり、両議員は「課題を解決するために人吉球磨地域だからこそできること」などをていねいに説明しました。

人吉球磨地域の農業委員会をはじめ、市町村・県・国が連携していくことの大切さを意見交換で再確認で

き、地域農業のさらなる発展のために、決意を新たにするとともに、



地域農業の課題解決に向け、アドバイスを
する金子国土交通大臣と松村参議院議員

5つの分野で連携を図る

ドゥ、ヨネザワ企業グループとの包括連携協定調印式



互いに連携を図る長谷町長と米澤CEO

10月17日、城南天然温泉かたるの森(熊本市)で「湯前町とドゥ、ヨネザワ企業グループとの包括連携協定締結式」が開かれ、同社の米澤誠CEO(最高経営責任者)

や長谷和人町長らが出席しました。

同社とは以前からキャンプ場事業や地域の課題解決に向けた取組を通じて連携してきました。今回は地域資源の活用や地域経済の活性化など、幅広い分野での連携を強化することが目的。まちはこれまで初めての県内企業との包括連携協定の締結に向けて協議を重ねてきました。

今後は健康増進をはじめ、観光や産業の振興、防災や災害発生時の支援、地域経済の活性化に取り組みます。米澤CEOは「今後、5つの分野で一体となった取組を進めていきたい。民間企業としての知見やネットワークを生かして、まちの魅力を磨き上げていくお手伝いをしたい」と話し、長谷町長は「ヨネザワ企業グループ様との縁ができたことで、確かな力を得たと強く感じる」と話しました。

湯中生、力走で襷をつなぐ

球磨人吉中体連駅伝競走大会 出場

10月10日、球磨人吉中体連駅伝競走大会があさぎり中学校をスタート・フィニッシュとするコースで開催。女子5区間12^{キロ}、男子6区間18^{キロ}を舞台に、各校の代表選手たちが力強く走りました。

女子は、2区の服部遥さん(3年＝野中田3)が区間賞を獲得しました。

◆競技結果

〈女子〉6位 49分01秒

1区：荒木 陽葵 2区：服部 遥 3区：松本 花 4区：那須 あかり 5区：深水 愛華

〈男子〉5位 1時間03分24秒

1区：植木 啓翔 2区：澁谷 優羽 3区：木村 勇風 4区：中田 剛翔

5区：財部 陽向 6区：藤岡 祐将



代掻き、田植え…ついに収穫！

湯前小学校5年生が稲刈りを体験

湯前小学校5年生の稲刈り体験授業が10月17日、上里1区内の田んぼで開かれました。今回も町内の農家の皆さん(JA青壮年部・女性部)が多数参加。手刈りの指導やコンバイン操作などで体験を補助しました。

児童らは横一列に並び、一斉に手刈りをスタート。黙々と刈り進めていき、あっという間に目標地点まで到達しました。コンバイン操作では、苦戦しながらも無事に刈り取りができました。

体験終了後、JA青壮年部湯前支部長の久保田直樹さん(41＝瀬戸口)は「誰かが食べ物を作らないと飢えてしまう。これから農業をする人が1人でもいいばいと思う」と子どもたちに話しました。



いきいき運動クラブ大交流会

いきいき運動クラブ大交流会開催

10月24日、湯前町農村環境改善センターで「第6回ゆのまえいきいき運動クラブ大交流会」を開催。各地区で日々活動している96人が参加しました。

開会後、主催者を代表して長谷和人町長が「通いの場での活動が、介護予防につながる。今日は楽しんでほしい」とあいさつ。各クラブの取組を発表する事例発表では、駅前クラブ(中里2)の松本亘さん、御大師クラブ(下里)の橋田實子さん、地藏クラブ(上里3)の椎葉源二さんが、日ごろの活動の様子を振り返って話しました。

最後には公立多良木病院企業団の理学療法士、濱田剛さんのフンポイントアドバイス付きで、いきいき百歳体操を行いました。



思い入れある古民家を受け継ぐ

0円古民家プロジェクト無償譲渡調印式

11月7日に、湯前町役場洋会議室で0円古民家プロジェクト無償譲渡調印式が開かれました。本プロジェクトは、地域活性化の促進を目的に、まちにある古民家を解体せずに次世代へとつなぐ取組で、一般社団法人全国古民家再生協会熊本第二支部が主催です。

今回、深水栄一さん(57＝野中田3出身)が所有する、築113年の古民家を活用したいと手を上げたのは鶴田政輝さん(70＝多良木町)。鶴田さんは「これから養蚕を始めるため、蚕を育てる場所を探していたときにプロジェクトを知った。かつてまちで盛んであった養蚕を復活させて、まちづくりにつなげていきたい」と古民家の利用に希望を持って話しました。思い出が詰まった古民家を譲る深水さん

は「10月に鶴田さんと会い、熱意ある話に感銘を受けて譲ることを決めた。18歳まで過ごした実家を有効活用してもらえてうれしい」と話しました。



九州初となるプロジェクトがきっかけでつながった深水さん(左)と鶴田さん

愛情込めて木を植える

JTの森ゆのまえ森づくりの日 第4期2回目

「第4期JTの森ゆのまえ第2回森づくりの日」が11月15日にゆのまえグリーンパレス芝生広場周辺と町有林で行われ、日本たばこ産業株式会社(JT)の社員や上球磨森林組合、緑の少年団ら133人が参加しました。

開会式で同熊本支社の古賀正英支社長は「未来に残す木を愛情込めて植えて、まちのみなさんとの交流もはかってほしい」とあいさつしました。今回は山に木を植える植栽活動や森林にまつわる講話などを実施。参加者は未来に向かって成長する姿を楽しみに、スギを750本植えました。その後、丸太切り競争や木工教室といった課外活動を楽しむなど、木とたくさん触れ合った1日となりました。



農望田綾さんが就任

人権擁護委員改選

任期満了による人権擁護委員の改選があり、10月1日に農望田綾さん(67＝野中田2)が就任しました。

人権擁護委員は法務大臣から委嘱されるもので、いじめや差別などの相談を受けたり、人権を尊重する考えを広める啓発活動は無報酬でしています。本町の委員は、金山充さん(74＝下村)と永濱みどりさん(69＝浜川)、農望田さんの3人。1期3年活動していただいた土屋千恵子さん(67＝野中田2)は、9月末で勇退されました。



農望田 綾さん



瀬戸口区で活動する「春夏秋冬の会」の皆さん

季を通して楽しんでほしいという思いを込めて『春夏秋冬の会』にした。区民の憩いの場としてこれからも元気に集まりたい」と話しました。



コウノトリに混ざってアオサギ(右端)もついで

四季を通じて楽しんでほしい

瀬戸口遊園地に看板をかけました

11月12日、瀬戸口区内の広場で看板の取り付けが行われ、同区でグラウンドゴルフを楽しむ皆さんが集まりました。同広場では、以前からグラウンドゴルフの練習が行われていましたが、コロナ禍により活動できない期間が数年間続いていました。活動が止まっていた間に広場には草木が生え、荒れた状態に。大石堅さん(91 = 瀬戸口)をはじめ、グラウンドゴルフの練習に励む地区の皆さんで草刈りなど整備し、再び集まって練習ができるようになりました。

大石さんは「別の活動で花壇づくりをしたとき、瀬戸口の広場もきれいにしたいと感じたことがきっかけ。整備していくうちに、看板があれば雰囲気も変わるのではと思い、作ることを決めた。みんなに四

湯前でゆったりと…

まちにコウノトリが飛来

11月9日、馬場区・瀬戸口区周辺にコウノトリが飛来しました。その場にいた9羽は、じっくりと地面を見つめながら田んぼから隣の田んぼへと、ゆっくりと歩いたり飛んだりして移動。何かをついばんでいる様子から、どうやらお食事中であったようです。

今回まちにやってきたコウノトリの足には、個体を識別するための足環がついていました。調べてみると、コウノトリの飼育に積極的に取り組んでいる、兵庫県豊岡市でことし生まれた個体でした。翌日には植木区で見かけたとの情報も。湯前でゆっくり過ごしてくれたようです。また来てくれることを楽しみにしておきましょう。

※コウノトリを観察するときは、距離を取って静かに見守りましょう

Baby



すずは ちゃん
椎葉 涼晴 ちゃん
R7.8.18 生(上村) 直斗・麗奈



なこ ちゃん
別府 菜心 ちゃん
R7.9.18 生(下村) 亮・みはる



りき ちゃん
本田 莉紀 ちゃん
R7.9.14 生(上村) 貴紀・遥

出生祝金贈呈

湯前歴史散歩

昭和3年の相良三十三観音めぐり①

昭和3(1928)年に湯前の漱泉という人が人吉新報に寄稿した「球磨三十三所彼岸詣」という連載記事のコピーが、本町教育委員会に保存されています。湯前の人が残した、戦前の三十三観音めぐりについて書かれた貴重な文献を紹介します。

午前3時、湯前を出発

漱泉は本名を中神忠義といい、俳句をたしなみ井上微笑とも交流があった人物で、漱泉はその俳号です。球磨名物の一つ「観音参拝兼吟行」として、観音めぐりを企画したようです。当時から三十三観音めぐりが「球磨名物」と認識されていたことは注目されます。

俳友の宝村らと7人で、彼岸初日の9月20日午前3時。まだ夜も明けていない暗い中、提灯を二つ下げて露で衣服を濡らしながら湯前を出発しました。久米の中山観音(28番)、

宮原観音(29番)に参拝を終え、上村の秋時観音(30番)へ向かう途中でようやく夜も明け、百姓家からは朝食の煙も登り始めました。道々、木樨の垣根を見て俳句を詠んだりしています。秋時観音の参拝を終え、午前9時に木上の大平観音に参拝しています。大平観音は札所ではありませんが、ついでに立ち寄ったのでしよう。ちょうど村の娘たちが接待のため大茶釜に火を入れるところでしたが、先を急いでいたのか接待は受けずに出発しています。

一武往還に出たころ空腹を覚え、茶店でおむすび2つを平らげ、参仏の習わしとして茶代1銭を置いていきました。

休憩を終え草鞋のひもを引き締めて、一武観音に到着。一武観音は第31番土屋観音と思われまふ。ここで初めて、芋の煮しめと豆茶の接待を受けています。参拝を終え再び一武往還に戻ると、人吉・多良木連絡の貨物自動車を通り過ぎ、塵煙に巻き込まれつつ、小瀬川橋を渡り、新宮寺観音(32番)に参拝。門を出て、梨売りの娘と柿売りの老婆に秋の彼岸の風情を感じています。



教育課 学芸員 松村 祥志

その後、赤池観音(33番)、中尾観音(2番)を経て、午後2時半には矢瀬が津留観音(3番)に参拝。小屋時ですが、各所で接待を受け「いささかも空腹を覚え」と記しています。

そこから、さらに戸越観音(三日原観音・4番)に参り、球磨川を渡って林湯の元観音(8番)に参拝。1日目はここで終わり、湯の元観音脇の旅籠屋に泊まりました。時に午後4時。疲れた足を温泉で癒し、冷酒にほろ酔い、今日の行脚を語り合



「球磨三十三所彼岸詣」の第1回

NEWS 1

◆那須良輔の魅力を伝える

熊本市で生涯学習講座を開きました



那須先生の魅力を作品と人生から読み解く

11月4日、くまもと県民交流館パレアで生涯学習講座「^{さっそうけんじ}颯爽健児～人間・那須良輔の魅力～」を開きました。本講座は県内博物館職員による出張講座「パレアミュージアム」に、当館が参加したもの。「颯爽健児」というタイトルは、那須良輔先生とほぼ同年代に活躍した漫画家、杉浦幸雄先生の那須良輔評から取りました。講座では那須先生の波乱万丈な人生を、本人の回想録や各時代の作品で紹介。生前の那須先生の人柄や作風を人々がどのように捉えていたか、那須先生自身が政治風刺漫画やふるさと湯前町についてどのような思いを抱いていたかを、先生をよく知る皆さんの言葉を頼りにひも解きました。

講座終了後の質疑応答では、参加者から感想が寄せられました。那須先生を初めて知った人からも「同じ熊本の偉人を知り得てよかった」「風刺が効いている漫画が多く、楽しめた」など、那須先生の人柄と作品に関心を持ってもらえました。また「球磨川の源流といえる湯前町を『漫画の源流の町』として周知してほしい」といった今後の参考となる意見も上がりました。参加いただいた皆さん、ありがとう



ございました。

湯前まんが美術館では、那須良輔作品の出張展示(出前まんが美術館)・ワークショップ・講演会など、那須先生やまんが全般の魅力を伝えるイベントを行っています。「公民館に複製画を展示したい」「那須先生の人生を講座でくわしく学んでみたい」などありましたら、お気軽にまんが美術館へ問い合わせください。



HP・SNS

ホームページやSNSで、まんが美術館の最新情報を発信中。ぜひご覧ください！(@yunomae_manga)



ホームページ



X (旧Twitter)



Instagram



高橋 颯希 学芸員



中尾 章太郎 学芸員

NEWS 2

◆最後の舞台は岡山県！

湯前まんが美術館が事務局となって、全国計4館を巡回する「これが漫画！展 日本の漫画を創った時代～楽天・隆一・良輔～」。11月30日、^{しょうおう}勝央会場(岡山県勝央町・勝央美術文学館)の閉幕をもって、全日程が終了しました。

同館での開幕初日となった15日は、開幕式典が盛大に行われました。式典終了後は、合志マンガミュージアムの橋本館長と、湯前まんが美術館学芸員の中尾章太郎によるギャラリーツアーを開き、来場者に展示作品を一つ一つ丁寧に解説しました。

那須良輔先生が逝去されたあと、作品の知名度は下がりつつあると言われてきましたが、今回の巡回展示のように、各地で先生の作品を展示する機会に恵まれ、当館にも『那須良輔』の名を館外のイベントやニュースで知って興味を持ったという人が多く来館します。那須良輔作品への関心が高まっていくことが、風刺漫画という文化の再評価、さらには日本の漫画の歴史全体の見直しにつながると考えています。これからも引き続き、さまざまな形でその魅力を紹介していきます。最後に、ことし「これが漫画！展」の各会場に来ていただいた皆さん、ありがとうございました！

これが漫画！展リポート



来場者に作品の一つ一つを詳しく説明

よりぬき りょうすけギャラリー

ユーモアあふれる那須先生を紹介！

「田舎の私のうちの裏の溪流に、さこん太郎があった。これは谷川の水を利用して米を搗く仕掛けのものだ。丸太ん棒の片方に水を受ける箱がつけてあり、片方に杵がついていて、笥の水が落ちて箱一ぱいになると、その重みで箱が下がり、水がザッとこぼれると、杵がストンと落ちる。杵の下には白に糲がはいっている。ここは森の中の寂しい場所で、夜などとても一人では行けなかった」

那須良輔『絵本歳時記』
(1977,146頁)



故 那須 良輔 先生

『さこん太郎』



※「那須良輔の世界展」で展示中(～翌年1月まで)

本の世界

今月のおすすめ

中央公民館図書交流棟 ☎0966 (43) 2050
【平 日】8:30～17:00
【土日・祝】9:30～17:00

■手が届きそうで届かない天と地。「思わず見上げる憧れの存在」をテーマに選んでみました。話題の本や受賞作を、じっくりのめり込んでお楽しみください。ちょっぴり早めのメリークリスマス★

国宝(上・下)

吉田 修一(著)
朝日新聞出版



俺たちは踊れる。だからもっと美しい世界に立たせてくれ! 極道と梨園。生い立ちも才能も違う若き二人の役者が、芸の道に青春を捧げていく。芸術選奨文部科学大臣賞、中央公論文芸賞をW受賞の作品

イン・ザ・メガチャーチ

朝井リョウ(著)
日本経済新聞出版



ファンダム経済を仕掛ける側、のめり込む側、かつてのめり込んでいた側――。世代も立場も異なる3つの視点から、人の心を動かす“物語”の功罪を炙り出す

ゆきのこえ

おーなり由子・はた こうしろう(著)
講談社



雪の朝はしずか。一歩ずつ雪をふみしめると「くすすすす」と、足もとから音が広がります。聞こえたのはゆきのこえ? かがやく雪の世界を体ぜんぶを使って感じる雪の絵本

小惑星・隕石
46億年の石

三品 隆司(著)
吉川 真・藤井 旭(監修)
岩崎書店



小惑星と隕石には太陽系ができたころの情報が詰まっています。彗星・流星・クレーターなど様々な天体現象を、最新の研究と多数の写真とともに解説したビジュアル図鑑です

保健

寒くなる前に確認を
救急車! もしものときも落ち着いて

寒い季節は体調不良になる人が多くなり、救急医療や医療体制に負荷がかかります。とくに年末年始は診察時間の変更や専門医が不在などいつもと違うことが多くあるため、あらかじめ「救急車利用マニュアル」を読んで確認しておきましょう。どのようなときに救急車を呼ぶべきか、くわしく書かれています。



↑救急車利用マニュアル(総務省消防庁)

○突然のこんな症状のときは、すぐに119番!!

【顔】

- ・顔半分が動きにくい
- ・笑うと口や顔の片方が歪む
- ・ろれつがまわりにくい
- ・見える範囲が狭くなる
- ・周りが二重に見える

【手・足】

- ・突然のしびれ
- ・突然片方の腕や足に力が入らなくなる

【その他】

- 意識の障害、けいれん、けが、やけど、強い吐き気、喉に詰まらせた、事故など

※高齢者は自覚症状が出にくいこともあるため注意が必要

必要なときは救急車を呼ぶことをためらわないでください!

○救急車を呼ぶべきか迷ったら…

■かかりつけ医がいる場合や小学生以下の子どもの場合

とくに子どもの場合は、年齢によって症状はさまざま。機嫌がよく、つらそうでなければ慌てずに様子を見たり、かかりつけ医に相談する

■受診を迷った場合や夜間・休日の場合

受診・相談センターなどの相談窓口、#7119(救急電話相談)、#8000(子ども医療相談)、「こどもの救急」などウェブサイトなどを活用する

参照:総務省消防庁ホームページ

【頭】

- ・急な激しい頭痛
- ・突然の高熱
- ・急にふらついて立ってられない

【胸や背中】

- ・突然の激痛
- ・急な息切れや呼吸困難
- ・旅行などのあとに痛くなった
- ・痛む場所が移動する

【腹】

- ・突然の激痛
- ・血を吐く



栄養・歯科

寒さに負けない体づくり
ビタミンEを味方につけましょう

ビタミンEは、ビタミンCと並び抗酸化作用のあるビタミンとして知られています。冷えを和らげる・風邪予防などの体づくりに役立ちます。

○ビタミンEの効果と摂取目安量

①血のめぐりをサポート

毛細血管を広げ、全身の血のめぐりを良くする。スムーズな血のめぐりは、手足の冷えを和らげたり、肌の調子を整えるのに役立つ

②活性酸素から体を守る

動脈硬化などの原因となる、過剰な活性酸素から体を守るのに役立つ

③その他

ホルモンのバランスを整える・血液に含まれる赤血球の機能を維持するなど、体のさまざまな部分で健康づくりに役立つ

■摂取目安量

成人男性 6.5ミリg/日 成人女性 6.0ミリg/日
(妊娠中 6.5ミリg/日 授乳中 7.0ミリg/日)

《ビタミンEが多い食品》 参照:日本食品標準成分表2015年版(七訂)	
食品名(種や皮を除いた量)	ビタミンEの量
かぼちゃ(中1/8個:200g)	9.8ミリg
うなぎの蒲焼き(1/2枚:80g)	3.9ミリg
アーモンド(10粒:10g)	2.9ミリg
赤パプリカ(1/2個:60g)	2.6ミリg
アボカド(1/2個:70g)	2.3ミリg

環境

違いを知って食品ロスをなくそう

食品ロスは、本来食べられるのに捨てられてしまった食品のことを言います。日本では年間464万㌧、毎日大型トラック(10㌧車)約1270台分の食べ物を廃棄しています。国民一人あたりで見ると、毎日お茶碗一杯分(約102g)を捨てていることになります。

○賞味・消費期限に注目!

賞味期限…品質が変わりにくいものに表示。期限を過ぎても食べられる

消費期限…生ものや傷みやすいものに表示。腐敗など安全面が考えられている

◆布団やシーツはリサイクルできません

リサイクルステーションに、布団や毛布が出されています。布団・シーツ・下着・汚れや破れた服は燃えるごみで出してください。指定袋に入らないときは、ひもで十字に縛りクリーンプラザに搬入してください。出し方が分らないときは「湯前町ごみ出しルールブック」を見るか、保健福祉課まで問い合わせてください

保健福祉課 ☎0966(43)4112



Android



iPhone

人吉球磨ごみ分別アプリ→

Recipe かぼちゃのポタージュ



【材料】※4人分

かぼちゃ…250g(1/8個) たまねぎ…50g(1/4個) サラダ油…適量 牛乳…500ml 塩…小さじ1 こしょう…適量 うすくちしょうゆ…小さじ2

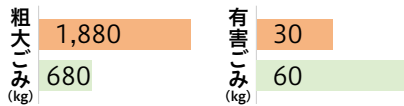
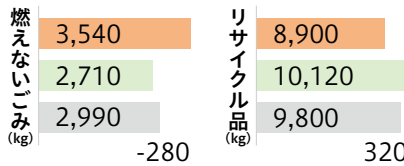
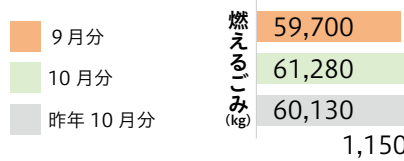
【作り方】

- ①かぼちゃは皮をむき、厚さ2mmの薄切りにして皿に並べ、ラップをかけて電子レンジで3分程加熱する
- ②①のかぼちゃを熱いうちにつぶす
- ③たまねぎはみじん切りにして炒める
- ④鍋にかぼちゃ・たまねぎ・牛乳を加え火にかける
- ⑤調味料を加えて味を整える(ベーコンを加えると、味に深みが出てさらにおいしくなる)

管理栄養士 田中 朋子

10月の一人当たりのごみの量 ※リサイクル品を除く

19.21kg(先月から0.11kg減)



12月の不燃物収集は

3・17日(第1・3水曜日)です

地域と学校が協働する活動

学校が地域を元気にする！
地域が学校を元気にする！

まちの行事で大活躍！

体育祭役員の一員に

10月19日に開かれた町民体育祭で、生徒15人がボランティア活動をしました。今回は、運営役員として、進行係・記録報告係・競技審判員・準備係に分かれ、生き生きと自分の仕事をやり切っていました。

地域の皆さんが体育祭を楽しんでいたことやけがをしたときにすぐに駆けつけていたことなども心に残ったようです。ボランティアをした全員が、活動が楽しかったと答えてくれました。運営役員も「生徒が活躍してくれてとても助かった」と話していました。

湯前中学校の生徒がボランティア活動



作品の展示を手伝う生徒

作品の展示に向けて…

11月1日、湯前町文化祭の準備が行われ、生徒6人がボランティアで参加しました。例年、町文化協会で準備をしますが、会員の高齢化が進み、準備が大変になってきています。

展示物を飾るパネルの組立や観覧席の設営、スリッパの拭き上げなどたくさんの準備がありましたが、てきぱきと動いて進めてくれました。予定よりも早く終わり、同協会員は、自分たちの作品展示に取りかかることができました。文化祭役員をはじめ、同協会員からは「中学生の皆さんが来てくれて、とても助かった」と話していました。

編集後記

▼運動会・文化祭・植栽活動など、たくさんイベントにカメラを持ってお邪魔しました。真剣な姿や笑顔などみなさん素敵な表情！しかし広報紙に載せられる写真は数枚。撮影時の雰囲気や感情などが相まって、写真選びに悩む日々。撮った写真すべてを載せたい気持ちとグッとこらえるのに必死でした。

▼伝統芸能継承活動の発表では、3カ月余り練習してきた成果を披露した中学生。舞台のそばで見守るのは、これまで練習を指導してきた地域のみなさんです。両者から伝わる緊張感。思わずカメラを構える手にも力が入りました。伝統を直接学べることは、ありがたい環境だと改めて感じました。

▼急に寒くなり、毎朝布団と格闘しています。のんびり身支度をするのが好きですが、寒さ・暗さ・眠さが重なりと布団から出られず惨敗。すっきりと起きられるよう、朝に何か楽しみでも作ろうかと思えます(佳)

■ 婦人会だより

○まち探検隊のお手伝い

11月6日、湯前小学校2年生のまち探検に参加し、活動のサポートをしました。

今回は、兼田製菓舗・湯〜とぴあ・湯前郵便局の3グループに分かれて探検。児童らは元気いっぱい学習していました。



○おいしいパンをつくろう

11月2日、湯楽里で下里区婦人会のパン作り体験を行いました。おいしいパンがたくさんできました。



婦人会長 苗床 由美

■ B&G だより

10月13日、海洋クラブで蓑谷ため池の清掃をしました。ことしの夏は、晴天が続いたことで池の水が少なく、活動ができない状況でした。

久しぶりのため池での活動。ごみは少ないかと思っていましたが、地面に金属片が埋まっていたり、草むらにお菓子の袋やビニールひもなどがたくさん。拾っているうちにごみ袋がいっぱいになり、クラブ員は驚いていました。とても暑い中での活動でしたが、クラブ員・指導者会員で力を合わせ、ため池周辺はきれいになりました。“自分たちが使った場所は自分たちできれいにする”とクラブ員に思ってもらえるような活動となりました。海洋クラブの活動拠点である蓑谷ため池。安心して楽しく活動できるように、これからも定期的に清掃活動をします。

力を合わせてきれいに



広いため池にごみはどのくらいあるかな？



ごみは砂に埋もれていることも。川の流れに乗ってきたごみも見逃さない

B&G 海洋センター 中田 優輝



笑顔満祭 『伝統も未来もアップデート』

令和7年度湯前中学校文化祭

11月9日に湯前小学校体育館で湯前中学校文化祭が開かれ、同校の全校生徒が練習してきた伝統芸能や演劇などを保護者らの前で披露しました。

ことしのスローガンは「笑顔満祭」「伝統も未来もアップデート」。実行委員長の桑原優輝さん(3年Ⅱ上里1)は「先輩たちが受け継いできた伝統や文化を自分たちでアップデートしながら取り組み、笑顔になってほしいという思いが込められている。この日を迎えたのは、先生の協力や生徒一人一人の努力があったから。精一杯頑張ろう」とあいさつしました。

伝統芸能継承活動では、国・町指定の無形民俗文化財となっている「球磨神楽(国指定)」「浅鹿野棒踊り(町)」「東方組太鼓踊り(町)」に取り組み、町民の皆さんに指導を依頼。約3カ月間練習に励んで披露した伝統芸能は完成度が高く、表情や息遣いから真剣さが伝わってきました。

たことを発表しました。プレゼンテーション班は「仕事」「人吉球磨の高校」「沖縄戦」「沖縄の文化」「湯前町の文化」について、壁新聞班は湯前町のことを中心に「特産品」「寺社や文化」「人気の食べ物」「防災と幸野溝とのつながり」「ふるさとを知る」の10項目を分かりやすく伝えました。発表資料を作るときのポイントや調べ方など、時間をかけて学んできた生徒。緊張しながらも、発表の中にクイズを取り入れたり、壁新聞に写真を入れるなど、相手に伝わりやすくするさまざまな工夫がされていました。劇発表「リズム」では、舞台の道具やセリフが多い中、見事に演じ切り、会場は拍手に包まれました。

1_ 迫力のある声・太鼓・鐘の音が響いた「東方組太鼓踊り」2_ 班で協力した壁新聞は、工夫が詰まっている 3_ 優雅に舞う「球磨神楽」4_ 息を合わせて棒を操る「浅鹿野棒踊り」5_ 協力して調べたことを発表 6_ 人気曲を演奏し、会場を盛り上げた 7_ すてきな発表に観てる側も笑顔 8_ 学びを生かした作品が並ぶ 9_ 全校生徒が力を合わせて演じた劇発表

町民憲章

Town's People Charter

- 一.健康で心豊かなまちをつくりましょう
- 一.平和・勤勉・明朗なまちをつくりましょう
- 一.自然を人を郷土を愛するまちをつくりましょう
- 一.活力があり未来あるまちをつくりましょう

私たちは湯前町民であることに誇りを持ち、豊かで明るく住みよい町にするために町民憲章をここに定めます。



12月の表紙

笑顔、ピカイチ!

10月19日に開かれた町民体育祭では多くの町民が集まりました。走って叫んで楽しんで、最高の笑顔でゴール!ことしも残すところあと1カ月。皆さんが笑って1年間のゴールテープを切れますように。

撮影場所 湯前町民グラウンド